

講義科目3-7

疫学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

動物や人間集団における健康や疾病とそれらに関連する事象の分布や規定要因を解明し、集団レベルでの疾病予防対策を行う疫学の基本的な考え方を学び、そのために必要な疫学指標、疫学研究のデザインと手法、疫学的データ解析の基礎知識を修得する。

(1) 疫学の概念

一般目標：

疫学の目的と意義を学び、その応用対象を理解する。

到達目標：

- 1) 疫学の定義を説明できる。
- 2) 疫学の目的と対象とする範囲を説明できる。

(2) 健康疾病事象の発生要因

一般目標：

健康と疾病（健康障害）の概念を理解し、健康疾病事象の発生要因を多重原因論（多要因病因論）の観点から説明できる。

到達目標：

- 1) 原因論（病因論）について概念を説明できる。
- 2) 疫学要因（宿主、環境）について具体的な例をあげて説明できる。

(3) 疫学で用いられる指標

一般目標：

集団の中で発生する疾病の頻度を測定するための指標を理解し、おのおのの指標のもつ意味を解釈し説明できる。

到達目標：

- 1) 疫学指標にはどのようなものがあるかを説明できる。
- 2) 曝露に関する指標を説明できる。

(4) 記述疫学

一般目標：

疫学研究における記述疫学の位置づけ、役割についてその重要性を理解し、得られた結果から疾病発生要因の仮説の設定ができる。

到達目標：

- 1) 記述疫学の目的、意義を説明できる。
- 2) 宿主の属性（生物学的、社会的）について説明できる。
- △3) 地理的特性について説明できる。
- △4) 時間的特性について説明できる。

(5) 生態学的研究

一般目標：

分析疫学の一つである生態学的研究のデザイン、長所、短所などの特徴を理解し、その解析結果の意味を説明できる。

到達目標：

- 1) 生態学的研究の目的、意義を説明できる。
- 2) 生態学的研究の特徴、長所、短所を説明できる。

(6) 横断研究

一般目標：

分析疫学の一つである横断研究のデザイン、長所、短所などの特徴を理解し、その解析結果の意味を説明できる。

到達目標：

- 1) 横断研究の目的、意義を説明できる。
- 2) 横断研究の特徴、長所、短所を説明できる。

(7) 症例対照研究

一般目標：

分析疫学の一つである症例対照研究のデザイン、長所、短所などの特徴を理解し、結果の意味を説明できる。

到達目標：

- 1) 症例対照研究の目的、意義を説明できる。
- 2) 症例対照研究の特徴、長所、短所を説明できる。

(8) コホート研究

一般目標：

分析疫学の一つであるコホート研究のデザイン、長所、短所などの特徴を理解し、その解析結果の意味を説明できる。

到達目標：

- 1) コホート研究の目的、意義を説明できる。
- 2) コホート研究の種類、特徴、長所、短所を説明できる。

(9) 介入研究

一般目標：

介入研究の種類、デザイン、長所、短所などの特徴を理解し、その解析結果の意味を説明できる。

到達目標：

- 1) 介入研究の目的、意義を説明できる。
- 2) 介入研究の種類、特徴、長所、短所を説明できる。

(10) 因果関係

一般目標：

曝露と疾病発生の因果関係の意味を理解し、因果関係を判断するための基準を説明できる。

到達目標：

- 1) 因果関係の定義を説明できる。
- 2) 因果関係の判定基準を説明できる。

(11) 疫学研究における誤差とその制御

一般目標：

疫学研究で適切な結果や解釈を導く妨げとなる誤差の原因となるバイアスについて理解し、その制御法について説明できる。

到達目標：

- 1) 偶然誤差と系統誤差（バイアス）について説明できる。
- 2) 系統誤差（バイアス）の生じる原因とその種類、制御法について説明できる。

(12) 標本抽出

一般目標：

疫学調査に必要な標本の抽出法や標本サイズを理解し、応用できる。

到達目標：

- 1) 適切な標本抽出デザインを説明できる。
- 2) 適切な標本サイズを説明できる。

(13) サーベイランス

一般目標：

サーベイランスの仕組みおよび手法を理解し、実際の応用例を説明できる。

到達目標：

- 1) サーベイランスの仕組みを説明できる。
- 2) サーベイランスの手法を理解し、説明できる。

(14) スクリーニング

一般目標：

スクリーニングの目的を理解し、スクリーニング検査の妥当性の評価方法を説明できる。

到達目標：

- 1) スクリーニングの目的を説明できる。

- 2) スクリーニング検査の妥当性の評価方法を説明できる。

(15) 疫学に必要な統計手法

一般目標：

疫学研究に必要な基本的統計手法を修得し、応用できる。

到達目標：

- 1) データの種類、統計量と分布について説明できる。
- 2) 推定について説明できる。
- 3) 検定を理解し、応用できる。

(16) 感染症の疫学

一般目標：

感染症の成立に必要な疫学要因（病原体、感染経路および宿主）を理解し、感染症の予防対策を説明できる。

到達目標：

- 1) 感染症の成立に必要な疫学要因について説明できる。
- 2) 感染経路の種類について説明できる。
- 3) 宿主の感受性を規定する要因について説明できる。
- 4) 感染症の流行・発生パターンについてその種類を説明できる。
- 5) 感染症対策の基本的考え方を説明できる。

(17) 特定分野の疫学

一般目標：

多くの学問分野で応用されている疫学の特徴を理解し、その概要を説明できる。

到達目標：

- △1) 様々な分野で用いられる疫学とその概要を説明できる。

(18) 微生物学的リスクアセスメント

一般目標：

リスクアナリシスの3要素の一つであるリスクアセスメントを食品媒介性病原微生物などに応用する目的と意義を理解し、リスクアセスメントの構成要素、解析方法などを説明できる。

到達目標：

- 1) リスクアナリシスの目的と意義を説明できる。
- 2) リスクアセスメントの構成要素、解析手法を理解し、説明できる。

(19) 疾病の経済的評価

一般目標：

獣医臨床、動物衛生および公衆衛生領域において疾病の経済的評価を実施する目的や意義を理解し、その分析手法を説明できる。

到達目標：

- △1) 獣医臨床、動物衛生領域において疾病の経済的評価を実施する目的や意義を説明できる。
- △2) 公衆衛生領域において疾病の経済的評価を実施する目的や意義を説明できる。
- △3) 疾病の経済的評価手法の種類と原理を理解し、説明できる。

(20) 疫学資料

一般目標：

疫学解析に利用可能な既存資料の種類を把握し、その有用性と利用法を理解できる。

到達目標：

- △1) 疫学解析に利用可能な既存資料の収集・利用法を説明できる。